

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成18年(2006)7月1日発行

■発行人/中村安良 ■編集長/中村三之助

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091

No.16

「京都の教育」聴く

指定都市 門川教育長が講演
議員連盟

六月二日、京都市内のホテルで、自由民主党政令指定都市議会議員連盟関西中京ブロック、五都市(京都・名古屋・大阪・神戸・堺)の

市議約五十人が集まり、政策研究会を開催しました。

当日は門川大作京都市教育長を講師に招き、「地方分権時代の教育改革」〜京都発 電金の精神による市民ぐるみの教育改革〜の

テーマで講演を拝聴しました。特に他都市の議員は、この直前に国会の教育基本法特別委員会で参考

人として答弁された門川教育長の話に大きな感銘を受け、京都の教育

改革、取り組みに深い関心を寄せました。また、連盟の目的である住民要望に的確に対応した大

都市政策の確立についての情報交換などを行いました。次回は十一月頃に大阪市で開催の予定。



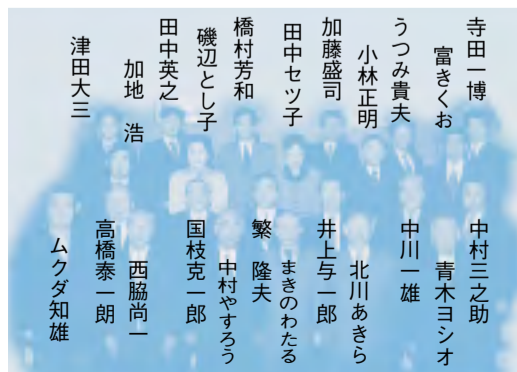
門川教育長の話聴く市議ら

市民の期待を担って、市民のために…勢ぞろい自民党市会議員団 (京都市役所玄関で)



頑張る自民党市議員団

- 小林正明 (北区)
- 加地 浩 (北区)
- 国枝克一郎 (上京区)
- 中村三之助 (上京区)
- 寺田 一博 (上京区)
- 青木ヨシオ (左京区)
- まきのわたる (左京区)
- 加藤盛司 (中京区)
- 津田大三 (中京区)
- 磯辺とし子 (東山区)
- うつみ貴夫 (東山区)
- 川中増次郎 (山科区)
- 富きくお (山科区)
- 西脇尚一 (下京区)
- ムクダ知雄 (南区)
- 田中セツ子 (南区)
- 井上与一郎 (右京区)
- 田中英之 (右京区)
- 北川あきら (西京区)
- 中村やすろう (西京区)
- 高橋泰一朗 (伏見区)
- 繁 隆夫 (伏見区)
- 橋村芳和 (伏見区)
- 中川かずお (伏見区)



自民議員の所属委員会

自民党	常任委員会					市会運営委	特別委員会		
	財政総務	文教	厚生	建設消防	交通水道		普通	公営企業等	
委員長		中村三之助			田中セツ子	北川 明	橋村 芳和		
副委員長	小林 正明		磯辺とし子	寺田 一博	津田 大三		田中 英之	中川 一雄	
自民党	小林 正明	加藤 盛司	磯辺とし子	青木ヨシオ	加地 浩	北川 明	青木ヨシオ	磯辺とし子	内海 貴夫
	繁 隆夫	中川 一雄	川中増次郎	井上与一郎	北川 明	繁 隆夫	国枝克一郎	井上与一郎	加地 浩
	田中 英之	中村三之助	国枝克一郎	内海 貴夫	高橋泰一朗	加藤 盛司	繁 隆夫	加藤 盛司	川中増次郎
	西脇 尚一	中村 安良	富きくお	寺田 一博	田中セツ子	田中 英之	田中セツ子	小林 正明	北川 明
		椋田 知雄	橋村 芳和		津田 大三	中川 一雄	田中 英之	津田 大三	高橋泰一朗
					卷野 渡		中村三之助	寺田 一博	中川 一雄
市会議長	卷野 渡						中村 安良	富きくお	卷野 渡
							西脇 尚一	橋村 芳和	椋田 知雄

*市会運営委員会の北川議員、繁議員は理事
*二特別委員会は予算特別委と決算特別委
*普通特別委員会の委員左欄は第1分科会、右欄は第2分科会

市民の意識向上が大切

地球環境守り 次世代に継ぐ 脱温暖化と循環型社会

中川一雄議員 (伏見区)

(地球温暖化防止対策と有料指定袋制度実施)

恵まれたこの私たちの住む地球を子供や孫の世代に引き継ぐ責任は重く、「脱温暖化社会」、「循環型社会」の構築こそが緊急の課題であります。他都市から見ますとゴミ収集に関しましては一步も二歩も遅れているのが現状であります。が「京都議定書」に恥じない対策に真剣に取り組むべきと考えます。家庭ゴミの分別収集と有料化は避けてはならない問題ですが「袋の有料化」、「分別収集される資源は循環される」といったことだけでゴミ問題を終わらせず、一人ひとりの環境問題に対する意識

代表質問

5月定例市会



伏見・横大路地域に集中する環境関連施設の一つ「廃棄物処理工場」

横大路まちづくり

(伏見区南西部地域の活性化)

中川一雄議員

(質問) 久我、羽束師地域におきましては地域人口が十七年度調査で二万八千人を超えておりますが、伏見区役所神川出張所の機能は現在も一般機能しかなく、特に高齢者への対象業務であります保険業

の向上が重要であります。導入後も、引き続き指導し、市民に訴えていくべきと考えますが、どのような対処を考えておられますか。
梶本頼兼市長(答弁) 「脱温暖化社会」、「循環型社会」の構築を図るうえで最も重要なことは、市民一人ひとりの環境意識の向上であることは、私も同じ認識であります。有料指定袋制の実施に向けた決意は「京都議定書」誕生の地の市長として五十年後、百年後の京都市を見据えた決断であります。議決に際しましての付帯決議につきましては、職員自らの環境意識の向上や付帯決議各項目の実現に万全を期するよう強く指示しております。

務、介護業務等の取り扱いには伏見区役所まで行かなければなりません。公共交通システムは利便性が悪く、高齢者にとりましては大変不便を感じておられます。また、環境関連施設を多く抱える横大路地区につきましては、他の地域と比較しましても、都市計画的な地域構想が脆弱で、南部クリーンセンター、魚あらしサイクルセンター、下水処理場、産業廃棄物処理施設など、市内の環境関連施設が過度に集中しております。都市計画審議会でも「京都市は、横大路地域全体のまちづくり構想を住民に示し、信頼感と理解を住民から得るよう」と報告されております。今年度、「伏見ルネッサンスプラン」が区政策提案算として処理されましたが、地域のまちづくりは伏見区役所だけの努力では

中川一雄議員の質問項目

- ・市民の環境意識の向上
- ・有料指定袋導入に当たったの取組
- ・中学生の児童館への参加
- ・一元化児童館の整備の意義
- ・乳幼児医療費支給制度の更なる充実
- ・障害福祉サービスの需給見直し
- ・市立高校改革
- ・中学校教育の充実
- ・ジュニア京都検定実施の取組
- ・区役所出張所の機能改善
- ・久我・羽束師地域の道路整備
- ・伏見ルネッサンスプランの策定と横大路地域の将来構想

進みません。総合企画局が積極的に参加企画していただき、バランスのとれたプランづくりが必要と考えます。

星川茂一副市長(答弁) 「区政改革推進委員会」で、人口や区役所への交通アクセスの状況、行財政運営の効率化も含め、出張所の機能や配置について検討をおこなっております。神川出張所につきましては、早急に機能の見直しを具体化してまいります。

梶本頼兼市長(答弁) 伏見区は二十一世紀の京都の新たな活力を担う行政区であります。その中心に位置し、環境関連施設を多く抱える横大路地域におきましては、昨年二月に自らのまちづくりを環境の視点から進める「横大路環境憲章」を打ち出されましたこと、心から敬意を表します。今後は、伏見区役所はもとより、総合企画局をはじめとする関係局が地域の皆様と一体となり、まちづくり専門家の助言もいただき、二十二年後、三十年後を視野に入れた「伏見ルネッサンスプラン」を策定し、その後、横大路地域における本市の事業を総合的に推進し、ひいては伏見区全体の活性化と魅力の向上を図ってまいります。

普通予算特別委員会

自民議員の主な発言・提案

- *京ものコピー商品に対する罰則規定設置、特許取得等の考え
- *女性起業家創出支援の取り組み状況
- *経済効果を伴う観光客誘致施策の必要性和観光客からの募金活用の考え
- *京都・花灯路予算が前年度より6百万円減少している理由
- *各局の所有施設を観光施設として一元的にアピールすることの必要性
- *梅小路公園における夜間も楽しめる観光娯楽施設設置についての検討状況
- *宇多野ユースホステルの再整備についての基本的な考え方と個室及び共有スペース確保の必要性
- *都市農村における経営基盤整備の必要性
- *大原地区観光農村育成事業の予算規模の妥当性
- *花き卸売市場の運営状況及び今後の運営方針
- *竹を使った新たな産業創出の考え

保健福祉局

- *男性保育士の採用増の要請
- *学童保育所や児童館の定員数超過による機能低下への懸念と適正な運営ができる体制の確保
- *学童保育利用料の値上げ及び開所時間拡大の趣旨
- *学童保育所開所時間拡大への評価と実施に向けた現場職員等関係者との十分な協議の必要性
- *本市独自の負担軽減策である障害者在宅自立支援給付費創設に対する評価
- *障害者手帳を持たない精神障害者に対する医師の判断に基づく医療給付の判定基準
- *障害者自立支援法施行にかかる激変緩和措置の3年間経過後の柔軟な運用

- *高齢者施設におけるテラスなど入所者が憩える施設の導入
- *認知症予防対策の充実
- *高齢者や障害者の外出への保険適用や助成制度の検討
- *緊急ショートステイの受入体制の拡充
- *10年後の介護保険給付額及び一般会計繰出金の見込み
- *介護予防導入による介護保険の削減効果見込み
- *地域包括支援センターの事業内容の市民への周知徹底
- *小児慢性特定疾患治療研究事業等医療給付の通院への適用拡大
- *骨髄バンクドナー登録についての市民への啓発促進
- *難病患者の保健所における相談体制の充実
- *業界団体との十分な協議による京(みやこ)・食の安全衛生管理認証制度の検討の必要性

都市計画局

- *高度集積地区への民間企業の誘導策
- *油小路沿道地域を高度集積地区に指定した経緯
- *高度集積地区の交通基盤整備の必要性
- *産業支援等複合施設整備の進捗状況
- *大原野地域における今後の土地利用計画の在り方
- *市営住宅の住宅用火災警報器設置に係る消防局との連携状況
- *京都御池地下街株式会社への信用補完措置
 - ・本市職員OBが御池地下街株式会社の社長になること是非
 - ・都心部に立地しているゼスト御池の売上高が低いことへの懸念
 - ・御池地下街株式会社の金利負担が20億

- 円以上減少する理由
- ・損失補償を現実化させないための具体的な検証内容
- ・ゼスト御池活性化のための抜本的な方策の検討
- *産業廃棄物処理施設の市街化調整区域への誘導策

建設局

- *桃山高架橋の改修促進
- *龍谷大学私有地を占有している歩道橋撤去の検討
- *沓掛上羽線と久世茶屋線との一体的整備の必要性
- *久世梅津北野線の整備見直し
- *京都高速道路新十条通の完成時期及び料金設定の妥当性
- *斜久世橋線が開通する平成23年まで暫定措置としての料金設定をする考え
- *七瀬川整備の進捗状況及び完成時期
- *深草での水路不法占拠における占拠者との協議状況
- *伏見桃山城運動公園整備の事業内容
- *伏見西部第四地区整備の進捗状況及び新たな整備プログラムの必要性
- *伏見西部第五地区における排水整備

消防局

- *自動体外式除細動器(AED)無料貸出制度に係る機器の配備体制、啓発方法及び増設設備予定
- *住宅用火災警報器設置における猶予期間内の購入価格差の防止
- *市営住宅における住宅用火災警報器設置についての都市計画局との連携状況
- *耐震型防火水槽による市民の消火活動の可否
- *災害発生時における救助体制の充実

- *災害発生時の指揮命令体制及び職員の参集体制
- *災害発生時の民間事業者等との協力体制及び関連機関との協定状況
- *全庁を挙げた危機管理の対応及び緊急物資の円滑な供給体制の構築
- *地震発生予知についての取り組み状況
- *国民保護計画策定における関係機関との十分な協議
- *国民保護協議会の内容及び委員構成
- *地域防災計画と国民保護計画の関連性

教育委員会

- *本市最初のPFI事業である御池中学校の特徴点
- *教員の資質向上に向けた研修等の取り組み内容
- *指導力不足教員に対する取り組みと社会状況を踏まえた教師の育成
- *教員の超過勤務手当の状況とがんばっている教員への措置の要望
- *感性豊かな人間教育及び親への再教育の必要性
- *環境教育の充実
- *夢・希望・目的を持つ子供を育成するための取り組みの重要性
- *みやこ子ども土曜塾のこれまでの成果、現状及び今後の取り組み
- *学校が子供の防犯に取り組む各種団体の取りまとめ役となることの必要性
- *小学校給食費値上げの要因と保護者への説明後の反応
- *就職希望者の進路状況と未内定者への就職支援
- *地元木材を使用した花背以北地域小学校統合校整備の要請
- *国際マンガミュージアムの具体的内容及び学校との連携の有無

歴史都市の街並み形成

京都らしさと景観ビジョン

文化財の保護、活用も

寺田一博議員の質問項目

- ・歴史的な街並み形成のための景観施策
- ・歩きたばこ禁止条例の制定
- ・LRTの導入
- ・埋蔵文化財の保管と活用
- ・地域力を活かした住宅用火災警報器設置促進事業
- ・国連持続可能な開発委員会出席の市政への反映
- ・国連持続可能な開発委員会への出席と本市の役割
- ・西陣地区における電線類地中化等
- ・伝統産業活性化推進計画の策定
- ・スチューデントシティ・ファイナンスパーク推進事業

寺田一博議員（上京区）

（歴史的な街並み形成と景観）

寺田一博議員（質問）歴史的都心地区の高さ制限方針が示されましたが、こういった施策は執拗に努力した上で百年以上たたないことには考えられるような街並みにはならないと思います。京都創生の柱となる部分でもあり、京都市民に対しこれら景観づくりの内容とビジョンをしっかりと示し、理解を得ることが大切だと思われまうがいかがですか。

梶本頼兼市長（答弁）世界に冠たる歴史都市である京都の市長として、優れた景観を後世に引き継ぐことは、京都の都市経営に携わる者の責務であると認識しております。今こそ景観元年として五十年後、百年後の将来を見据え、我が国の景観行政の先鞭となる景観施策の歴史的転換を図るこの取り組みに全身全霊を打ち込み、強力に推し進めて参る決意です。

（歩きたばこ禁止条例の制定）

寺田一博議員（質問）

寺田一博議員（質問）歩きながらのたばこは子ども達の目の位置に来ますので、大変な事故につながることもなおります。ぜんそくの子どもの達にとって顔の前の煙が脅威であること等を考えると、ただマナーの問題と言うだけでは済まされません。分煙の推進のために喫煙者の環境に配慮した上で、次世代を担う子ども達のためにも歩きたばこを禁止する条例の制定を強く望みます。

梶本頼兼市長（答弁）

梶本頼兼市長（答弁）たばこ対策は、市民の健康を守ることとはもとより、まちの美化の推進や安心・安全なまちづくりを進めるうえでも、社会全体で取り組んでいくことが重要であります。「歩きたばこ」につきましては、吸い殻の散乱につながるだけでなく、小さな子どもたちにとつてやけどの危険等が伴うことから、市民生活の安全を確保する観点なども含め、取り組みが必要であると認識しております。条例化を早急に検討するよう

う関係局に指示して参ります。（埋蔵文化財の保管と活用）

寺田一博議員（質問）

寺田一博議員（質問）埋蔵文化財の出土品の保管箱数は、現在、約十七万六千箱、そのうちほぼ70%が未整理の状態です。また保存場所も市内九カ所に分かれ、その賃借料や警備費で年間五千二百万円の出費は効率が良いとは言えません。一カ所に保管できる施設をつくり、その活用をはかるべきと考えます。また、小中学校区内の遺跡については学校における展示の推進や、教材としての活用により京都の歴史を文字通り肌で感じ取ってもらえるのではないかと考えています。市長の見解をお聞かせください。

梶本頼兼市長（答弁）

梶本頼兼市長（答弁）遺跡からの出土品も、貴重な文化財として適切な保存と活用を図っていく責



伝統産業を生かしたまちづくりを進める「西陣」（京都市考古資料館前）

務があると認識しております。今後の発掘調査の動向及びこれに伴う出土品の量の推計等に基づき、検討する必要があると考えております。また、出土品の活用につきましては、小中学校における展示の拡大、教材としての活用や発掘現場体験の充実など身近に出土品と接する機会をさらに増やす取り組みを推進し、市民一人ひとりが地域に誇りと愛着心をより一層持つよう努めて参ります。

西陣の電線地中化を

寺田一博議員（質問）

寺田一博議員（質問）京都が誇るものづくりの街、西陣では伝統産業はもろろん、最近はその伝統産業を生かした商品や、また新しいものづくりなど様々な取り組みが行われております。イベントなどに参加して感じますのは、古都京都にふさわしい街並みにするために電線の地中化や道路を石畳にするなどの計画が必要だと思っておりますが、いかがですか。

梶本頼兼市長（答弁）

梶本頼兼市長（答弁）西陣地区は伝統的な京町家が今なお残る京都らしさを醸し出す地域であると認識しております。次の電線類地中化計画の策定の中で、検討したいと考えております。また、石畳化を含む道路の美化化につきましても、地元の皆様とのパートナーシップの下、地域の景観に配慮した整備を検討して参ります。

普通予算特別委員会

自民議員の主な発言・提案

自由民主党市議会議員団ニュース第15号(前号)で平成18年度京都市予算編成内容をお知らせしましたが、今回はその際、普通予算特別委員会で自民議員が多岐にわたって活発な質疑をしました主な項目は次の通りです。

総合企画局

- ・みやこユニバーサルデザイン推進条例に関する総合企画局の役割と今後の課題
- ・京都創生推進への京都市民自身の取り組みの重要性
- ・サミット誘致に係る他の候補地の状況及び誘致失敗時のリスクと責任
- ・サミット誘致への新たな取り組み内容
- ・権限と財源の確保ができた場合の道州制導入による大都市のメリット
- ・市民に親しまれる各区版の市民しんぶんへの工夫
- ・市民しんぶんの構成等に対する高齢者などの市民要望の把握
- ・市長への手紙の回答期間短縮及び市長名電報の取扱いの工夫
- ・コールセンターの対応マニュアルにない問合せ事項の対応
- ・東京事務所職員の民間人採用の必要性とシティーセールス担当職員の人選の考え方
- ・大岩街道の水路対策の見通しと早期解決の要望
- ・情報セキュリティに対する職員意識の向上と情報管理の徹底
- ・ITの進歩による情報弱者を作らないための今後の取り組み
- ・国勢調査の在り方に関する国への要望
- ・統計の閲覧方法の工夫と効果ある情報発信

総務局

- ・これまでの職員定数削減の実績と今後の削減対象
- ・外郭団体に再就職した本市退職者給料の基準と経費削減に向けた本市の関与
- ・耐震の観点からも必要とされる市役所建て替えの決断
- ・人材育成方針にある女性職員の登用拡大
- ・区役所など窓口職場職員の説明能力向上の必要性
- ・本市職員の社会参加による市民意見の市政への反映
- ・職員厚遇問題解決に向けた決意
- ・職員厚生会への負担金の見直し内容と適正な執行
- ・歴史資料館からの正しい京都の歴史の発信

理財局

- ・三位一体改革の本市への影響
- ・財政基盤が弱い本市の財源確保の考え方
- ・市庁舎の耐震改修予算措置の見送り理由
- ・区政策提案予算の評価と継続的な予算措置の要望
- ・市税増収のための軌道敷等の適正課税の更なる研究
- ・社寺への本市財政協力に向けての説得
- ・職員が市内在住の意義とそれに伴う増収効果
- ・朝鮮総連関係施設の固定資産税課税状況及び厳格な使用実態調査の必要性
- ・低入札価格調査基準を下回る落札に対する調査制度の見直し
- ・調度課における業者に対する対応の改善
- ・日銀の量的緩和と政策解除による本市財政への影響
- ・これまでの基金借入状況と市民に対する説明の必要性

環境局

- ・プラスチック製容器包装分別収集全市拡大時のコスト、エネルギーの見込み
- ・将来の資源ごみ回収量の増加による有料指定袋手数料減少の見通し
- ・廃食用油回収拠点の拡大と市民への一層の啓発
- ・リターナブルびん回収について市民や回収拠点となる小売店への情報提供の必要性
- ・大岩街道周辺地域の良好な環境づくり指針策定の進ちょく状況
- ・都市計画局との連携による産業廃棄物処理施設等の設置基準の整備
- ・有料指定袋制の実施
 - ・不法投棄増加への懸念と対策の実施
 - ・10月実施までに市民の賛同を得られる施策にするための取り組みの必要性
 - ・学区や町内単位で環境保全に取り組む組織作りの必要性
 - ・生活困窮者や紙おむつ使用者への負担軽減策の必要性
 - ・業者収集によるマンションごみ等事業系ごみの徹底した分別指導の必要性と指導方針の明示
 - ・有料指定袋制の実施による不適正排出者への具体的な対応及び罰則規定導入の検討
 - ・生産者である事業者責任の追及
 - ・広告掲載による有料指定袋価格の引下げの検討
 - ・まち美化事務所職員が積極的に市民に出向いて話し合いや啓発をする取り組みの必要性
- ・焼却灰溶融施設の早期建設によるダイオキシン対策と東部山間埋立処分地供用期間の延長
- ・水垂埋立処分地跡地売却における余剰土地の用途

文化市民局

- ・京都文化祭典の参加者の推移
- ・京都文化芸術都市創生条例のめざす方向性と市民のかかわり
- ・動物園の入場者増に向けた18年度の新たな試み
- ・京響創立50周年記念事業の内容及び市民からの出演依頼に対する柔軟な対応の要望
- ・二条城保存整備事業における5箇年計画の内容
- ・左京区総合庁舎整備調査の時期とアクセス改善の要望
- ・「伏見ルネッサンスプラン」へのサポートの要請
- ・一般市民参加型の人権研修への必要性
- ・コミュニティセンター一般利用の促進
- ・市内ホームレス数と対応策
- ・野生鳥獣対策の具体的内容とカラス対策
- ・地域と取り組む駐輪対策の事業内容と警察との十分な連携の要望
- ・重点項目を定めた取り組みの重要性
- ・中学校グラウンド夜間照明の管理主体
- ・桃山城運動公園における天守閣の活用方法
- ・サッカースタジアム建設及び管理運営費に関する京都府への更なる働き掛け
- ・地域体育館の整備促進
- ・指定管理者制度導入に伴う職員派遣廃止による経費削減割合

産業観光局

- ・京都館の休館日についての考え及び民間人所长登用の考え
- ・西陣織の人材不足の懸念とデジタルアーカイブ導入の必要性
- ・販路拡大のための具体的な取り組み



片山鳥取知事(左)から説明を聞く自民党京都市議員団

六月十三日、自民党京都市議員団の一行は鳥取県庁を訪れ、「県内で選出された一定の公職にある者からの提言、要望、意見等に関する取扱要領」について調査を行いました。

県庁では片山義博県知事自ら対応していただき、知事から、いわゆる口利きに関する取り扱いを定めた要領制定の経緯と運

活発に行政視察

自民党市会議員団

富山市ではLRT(ライト・レール)富山港線を路面電車化したLRT事業が、今年四月スタートしています。十五分間隔で運行され、お年寄りや車いすの方にも利用しやすい



四月から運行をはじめた富山ライトレール(LRT)の車両

LRT動き出す 富山

金沢 小京都のまちづくり

自民党京都市議員団は、六月五日、富山市の「富山ライトレール」を視察いたしました。現在京都市ではLRT(ライト・レール)トランジット、軽軌道公共交通機関)導入の検討が始まり、シンポジウム開催を始め

LRTは、市民の足として早くも認知されている感を抱きました。富山市の担当者から、LRT導入にいたる経緯や現地での運営状況などを調査いたしました。市民の皆様は理解を得る努力の必要性など今後の京都での取り組みに

「口利き取扱」の要領

鳥取

島根 竹島の日条例について

用状況について詳しくお話をいただいた後、制度運用による議員、職員、県民の反響など具体的な多岐にわたる我々の質問に対し、明快なお答えをいただきました。このようにオープンにしたこと、理事者からの根回しを行なわないこと、結果的に議会が活発になつてきたことと知事自身はご満悦でした。



栗山名誉館長(手前)から話を聞く自民党議員団

日本文化と酒のお話

栗山一秀名誉館長招く 月桂冠 大倉記念館

すっかり恒例となった自民党京都市議員団の「朝食勉強会」は、四月二十八日、議員団室に月桂冠大倉記念館の名誉館長・栗山一秀氏をお招きして、テーマ「日本文化と酒」と題して講演をいただきました。

朝食勉強会 栗山氏が若い時から世界をめぐり、あらゆる酒との出会いや酒造り文化、飲酒文化の愉快なお話から京都の酒造りに今後など、有意義な内容を拝聴しました。

大変参考になりました。また、自民議員団は翌六日に金沢市へ「景観まちづくりと景観法を踏まえた今後の取り組みについて」行政視察を行い、市の担当者から「小京都」と言われる金沢市の町並み保全の施策と課題など伺うことができました。

自民議員の主な発言・提案 公営企業等予算特別委員会

自由民主党市議員団ニュース第15号(前号)で平成18年度京都市予算編成内容をお知らせしましたが、今回はその際、公営企業等予算特別委員会で自民党議員が多岐にわたって活発な質疑をしました。主な項目は次の通りです。

市立病院に関する事

- * 診療科別損益計算書作成の見直し
- * 特命随意契約の抑制と一般競争入札の活用による経営健全化の促進
- * 医療スタッフの確保と保健所との連携による十分な予防医療の実施
- * 市立病院再整備の年次計画におけるユニバーサルデザインの導入状況
- * 市立病院整備事業におけるPFIアドバイザーとの対等な関係の構築
- * 院内保育所の必要性と運営の在り方
- * 優秀な医師を確保するための処遇改善に係る18年度予算への配分状況
- * 高度医療提供のための低金利を生かした最新医療機器の整備充実
- * 新型インフルエンザ対策マニュアルの作成と職員への指導徹底
- * 他機関との新型インフルエンザ対策合同訓練の実施
- * 新型インフルエンザ患者を診療する医師等への安全対策と支援体制の整備
- * 感染症病棟のない京北病院からの搬送受入体制
- * SARS等の感染症流行に対応できる十分な感染症病床の確保
- * 市立病院と京北病院間の積極的な人事交流による職員レベルの向上
- * 医療事故防止に係る安全対策の取り組み内容
- * 患者の強制転院への不安解消のための

説明責任の遂行 * 入院期間の短縮化による高度医療、政策医療の十分な提供

市バス・地下鉄に関する事

- * 赤字体質からの脱却の方策
- * 高金利債の更なる借換えの必要性
- * 各種乗車券の発売場所の拡大
- * 旅行者と連携した一日乗車券等の観光客、修学旅行生への広報の必要性
- * 民間高速バスとのタイアップによる旅客増対策
- * 市バスのバイオディーゼル燃料100パーセント使用に向けた取り組み状況
- * アイドリングストップバスの拡充
- * 営業方法及び広告方法の改善
- * 交通局ホームページ内の広告ページの改善
- * オリジナルグッズの交通局ホームページへの掲載
- * 時世に合ったバスへの変革の必要性
- * 市民ニーズに合ったバスの集中と選択
- * 27号系統を増便する取り組み
- * 小型バス車内のフラット化に向けた取り組みの必要性
- * 定期観光バス事業に対する現状認識とリピーター客の増対策
- * 地下鉄の駅職員の民間委託化による財政効果
- * 地下鉄丸線のワンマン化の前向きな検討の必要性
- * 地下鉄建設当初と現在の企業債の返済計画
- * 工事の進捗率と早期開通の見直し
- * 開通に合わせた市バス路線の再編の必要性
- * 仮称西大路御池駅の出入口の設置に関し地元の理解を得る必要性

- * LRTの導入検討に当たっての交通局のかかわり
- * 駅空間を利用した増収対策
- * ミニコンビニの今後の出店計画
- * 地下鉄の構造物の耐震強度及び耐用年数

上下水道に関する事

- * 上下水道事業の民間委託化の必要性
- * 上下水道事業の効率的な運営
- * 水道サービス協会及び下水道事業協会が天下り先となっていることへの懸念
- * 水道サービス協会及び下水道事業協会の統合の具体的時期と決意
- * 入札の落札率と談合の疑い
- * 入札制度検討委員会の開催状況、構成員
- * 落札率50パーセントの工事内容とその是非
- * 京北地域の地域水道整備計画
- * 災害用備蓄飲料水の販売目的、主な販売先、無償配布の状況
- * 本格的な災害用備蓄飲料水として1.5リットル缶を発売する考え
- * 厚生会の公費と掛け金の負担割合の是正
- * 疎水百選における琵琶湖疎水の評価と記念行事の考え
- * 地下鉄二条天神川間延伸に係る工事費削減における上下水道局のかかわり
- * キャッチフレーズを変更する考え
- * 水需要を増やす取り組みの必要性
- * 地下水利用専用水道の拡大に対する考えと利用状況
- * 井戸水の水質点検の必要性と法規制の有無
- * 浄水場ごとの収支バランスの把握及び独立採算制の導入
- * 浄水場の施設規模適正化の検討内容
- * メーターから宅地内の鉛管の残存数とその布設替えに対する補助制度の創設

- * ろう水防止の抜本的な解決策と布設替えのサイクル
- * 琵琶湖疎水記念館における館内案内者等の配置の考え
- * 合流式下水道改善の進捗状況及び今後の整備計画
- * 工事時間帯の設定方法と昼夜の割合
- * 災害時の浸水危険地域の把握
- * 西羽束師雨水幹線の工事進捗状況とポンプ場の稼働能力
- * 雨水貯留施設設置助成制度の情報提供の必要性
- * 公共施設における雨水貯留施設の設置状況及び取り組み内容

ひとくちメモ

《政令指定都市とは》 議員団ニュース本号一面で政令指定都市議会議員連盟の記事を掲載しましたが、「政令指定都市」とは、今から百年以上前に、大都市による自治権拡充要求の流れの中で誕生したもので、道府県と同等の行政能力などを有していることが求められています。 ことから、昭和三十一年に大阪・京都・名古屋・横浜・神戸の五大都市が最初の政令指定都市に指定され、その後北九州市・札幌市・福岡市・川崎市・広島市・仙台市・千葉市・さいたま市・静岡市・堺市の十市が加わり、現在は概ね人口七十万人以上の十五の都市が政令市です。